



日本小児アレルギー学会

Japanese Society of Pediatric Allergy and Clinical Immunology

理事長ニュースレター

日本小児アレルギー学会第14期理事長 藤澤隆夫

2018.10.19 発行 (第7号)

小児アレルギー学会をめぐる最近の動き

本学会の会員数は2018年10月1日現在、4181名（名誉会員20名を含む）と、引き続きの増加傾向です。今、国は、アレルギー疾患対策基本法に基づいて、各都道府県の拠点病院整備、国民への正しい情報発信体制整備、免疫アレルギー研究10カ年戦略の検討など具体的な政策を進めていますが、これから本学会への期待はさらに高まっていきますので、研究、診療はもちろんのこと、アレルギー児ケアに関わる社会環境の整備や災害対応体制の整備など、より一層の努力を続けたいと思います。

一般社団法人への移行に向けて

現在、本学会は未だ任意団体としての位置づけです。アレルギー疾患対策基本法に基づく国の動きもある中で、本学会の社会的責務はより大きくなりますが、任意団体は法的な保証を欠くことより、組織としての活動が一部制限される面があります。本学会が、信頼される団体として役割を果たしていくためには、学会組織を法的に整えるべき時期にきたと考えられます。そこで、理事会で審議を重ねた結果、日本小児アレルギー学会の一般社団法人への移行とこれに伴う定款案を決定いたしました。定款案は学会ホームページに掲載して、会員の皆様のご意見を募ったところですが、今後は以下の予定で進めたく、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

法人化承認：2018年10月20日 評議員会、10月21日 会員総会にて

法人登記：2019年9月2日（同日、任意団体解散）

新法人の定款はこれまでの学会規約の基本部分を踏襲、法令に基づいて作成したものです。その他の諸規程は、法人化承認後、定款に基づいて整備していきます。

法人化WG（清益功浩委員長）

会員個人ページをスタートします

会員の皆様へのサービスを充実させるため、2018年10月より学会ホームページに会員用の個人ページを開設します。個人ページでは、会費の納入歴が一覧で表示されますので、ご自分の支払い状況を確認いただけるとともに、学会役員、各種委員会・WG委員をされた方はその履歴もご参照いただけます。

とくに、会員の皆様の個別ニーズにあわせた情報提供のため、会員情報（卒業年次、専門医資格など）の入力もお願いしています。以前にご入会いただいた会員の中にはメールアドレスのご登録がない方もいらっしゃいますが、重要なお知らせはメールでお送りすることが多くなっていますので、この機会に必ずお願いいたします。転勤などで学会誌の送付先を変更されたい場合も、簡単にしていただけます。

さらに、診療で役立つ各種資料も簡単にダウンロードできるようになっています。本学会作成のガイドラインや許諾を得た外部団体の資料などから、日常診療で「あると便利」なものを集めました。ぜひ、ご利用ください。

会員専用コンテンツ一覧（2018年10月現在）

気管支喘息

喘息個別対応プラン
喘息を持つ児童・生徒の QOL 調査票 (version3)
養育者用気管支喘息 QOL 調査票 (QOLCA-24)
小児気管支喘息患児と親または保護者の QOL 調査票簡易改訂版 2008 (Gifu)
JPAC (Japanese Pediatric Asthma Control Program)
ACT (Asthma Control Test) C-ACT (Childhood Asthma Control Test)
Best ACT-P (6歳未満用小児喘息コントロールテスト)

食物アレルギー

食物日誌 (マイラン EPD 合同会社) 学校給食における食物アレルギー対応指針 (文部科学省)

アトピー性皮膚炎

アトピー性皮膚炎の主な治療薬_公益財団法人日本アレルギー協会
POEM (Patient-Oriented Eczema Measure) 日本語版

災害対策・対応

災害時のこどものアレルギー疾患対応パンフレット 災害時のこどものアレルギー疾患対応ポスター
災害派遣医療スタッフ向けアレルギー児対応マニュアル
アレルギー疾患のこどものための「災害の備え」パンフレット (日本小児臨床アレルギー学会)

データベース

アレルギー疾患データベース作成支援 項目集 (近日中に公開)

広報 WG (手塚純一郎委員長)

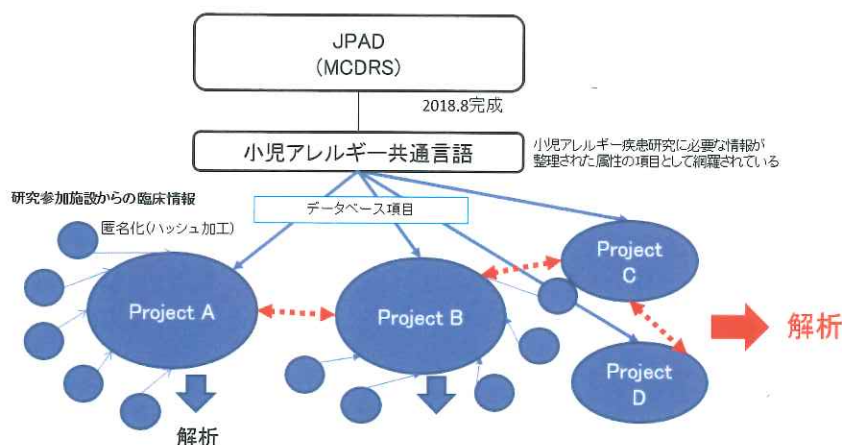
小児アレルギーデータベース JPAD が完成しました：臨床研究データベース支援事業

小児アレルギーデータベース (Japan Pediatric Allergy Database:JPAD)

臨床研究を進める上で、症例データベースはもっとも重要な基盤となります。2017年度、日本小児科学会は厚生労働省から臨床効果データベース整備事業を受託しましたが、分科会としての本学会も予算配分を受けましたので、2017年にワーキンググループを立ち上げ、小児アレルギーデータベースの作成に取り組みました。このデータベースは、MCDRS (マックドクターズ: Multi-purpose Clinical Data Repository System) プラットフォーム (<http://mcdrs.jp/>) の上に構築、小児アレルギー疾患に特化した項目定義をしています。

MCDRS (マックドクターズ)とは Web ベースの臨床症例データ登録システム用のソフトウェアです。症例登録する利用者に ID とパスワードを発行、その利用者が Web 上で登録画面にアクセスして症例登録すれば、研究 DB 管理者がダウンロードして集計と解析ができるものです。SS-MIX2 (Standardized Structured Medical Information eXchange) に基づいて標準化された電子カルテデータを読み込むことも可能となっています。

JPAD の利用は？ 本学会としては将来の小児アレルギーRegistry 構築を目指して、JPAD の利用を進めていきたいと考えています (図)。当面は、DB 作成を予定される会員に研究計画書と DB 利用計画書をご提出いただき、研究推進委員会で審査の上、DB 登録する方針です。ただし、MCDRS は大きな可能性をもつデータベースながら、現状のインターフェースはやや使いにくいと、利用しやすいインターフェースの設計は別に行っていただく必要があります。そこで、比較的低額で DB を作成するプランのご紹介もいたします。詳しくは、データベース活用ワーキンググループ (吉田幸一委員長) にお問い合わせください。



データベース項目辞書として 一方、各研究者が個別にデータベースを作成される場合には、上記の手続きを経ることなく、JPAD で定義したデータベース項目を会員に自由にお使いいただけるようにしました。ワーキンググループが小児アレルギー研究に必要と考えられる項目を網羅して定義した JPAD は、「データベース項目辞書」としても利用できますので、臨床研究を計画される際に、この JPAD 項目を参照いただくと便利です。会員個人ページから自由にダウンロードいただけます (近日中に公開)。

データベース活用 WG (吉田幸一委員長)

第 2 回小児アレルギースキルアップコース開催

(Pediatric Allergy Skill Up Course: PASCO)

若手小児科医に小児アレルギー診療の基礎となる知識と手技をマスターしてもらうことを目的に、小児アレルギースキルアップコース (Pediatric Allergy Skill Up Course: PASCO) を昨年より始めましたが (グラクソスミスクライン医学教育事業助成)、今年も 5 月 12-13 日に大阪で開催し、全国からの 71 名が参加されました。

アクティブラーニング形式のプログラムに参加者の満足度は高く、Kirkpatrick の 4 段階評価による到達度も高い結果でした。昨年の参加者への 6 か月後調査でもセミナーで修得したことをそれぞれの臨床で実行されていることが確認され、小児アレルギー診療の均てん化に少しでも貢献できたかと考えます。セミナーの講義部分は学会ホームページでビデオ配信もしていますので、ぜひご覧ください。

小児アレルギー教育セミナーWG（足立雄一委員長）

第 4 回臨床研究支援セミナー開催

(Clinical Research Supporting Seminar:CreSS)

さまざまなクリニカルクエスト（CQ）をおもちの先生方を対象に、臨床研究の基本的な手法を学んで、質の高い研究に結実していくための臨床研究支援セミナー（CreSS）は、今年で4回目となり、2018年9月8-9日に幕張で開催しました。（参加者27名）

外部を含めた一流講師陣による講義とともに、グループ演習として、参加者が提案した CQ を構造化、模擬的ながらも研究計画にまで作り上げるという 2 日間の合宿形式のプログラムです。

今回は「身近」で重要な課題を「大型の研究費がなくとも」着実に解決できる研究にフォーカスして、「臨床研究立案の基本」「観察研究のポイント」「研究初心者が知るべき倫理指針 10 のポイント」「文献検索のコツ」「超初心者のためのプチ統計講座」「臨床研究と統計学」といったテーマで講義が行なわれました。グループ演習では今年も熱心な討議がされましたが、ここから新しい研究がスタートしていくことをおおいに期待します。

CreSS WG（勝沼俊雄委員長）

第 4 回メディカルライティングセミナーを開催します

論文執筆の基本を学んでいただくメディカルライティングセミナーを引き続き開催します。1) 論文執筆の基本、2) 論文に必要な英語表現、3) 基本的な統計手法の使い方 について、毎年好評の講師陣からレクチャーをしていただきます。これら基本を学ぶだけで、必ずグレードの高い論文が書けるようになりますので、どうか奮ってご参加ください。

日 時：2019年2月9日（土）10時20分 開始 17時20分 終了予定

会 場：一橋講堂（東京都千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター 2階）

対 象：臨床研究に取り組もうとする会員、臨床研究に興味のある会員。

臨床研究成果の論文化に悩んでいる会員、論文作成力の向上を志向する会員。

定 員：120名

参加費：10,000円（テキスト代込み） 申込締切：2019年1月7日（月）

CreSS WG（勝沼俊雄委員長）

会員の皆様のご要望、ご提案はいつでもお待ちしております。office@jspaci.jp までメールをお願いいたします。（日本小児アレルギー学会事務局）